熊他ハ上 レ 全上
様ノ兩端線ヲ付ス上ニ同シ 全上
黒鯨下ケ圖ノ如ク上ニ同シ 全上
(圖略ス)
府 縣
務所ノ類)説教所(説 … 月三十日十二月三 … 両度ニ當省ヘ差出
… 及附屬ノ地所建物 … 關スル諸願ハ(寺 …
可シ
卿 山縣有朋
府 縣
… 第二項ノ件出願許 … 出此旨相達候事
卿 山縣有朋
神佛各管長
… 半年毎ニ取調翌一 …
… 姓名及各地方教務 … 備置ク可シ
… 類)説教所(説教ノ … 地方廳ヘ願出其移 …
… 帳簿ヲ備置ク可シ … 廳ハ管長添書ス可シ
… ク可シ
卿 山縣有朋
… 方及其期日左ノ通相 … ニ準據シ其願 … 期後期若クハ當科ノ … 廳ヘ差出スヘシ此旨
卿 山縣有朋
町 愛知縣下名古屋 大坂府下大坂 岡山縣下岡山
府 縣
地方病院出入取扱定
卿 川村純義
役所 戸長役場

來ル十一月四日五日(午前九時ヨリ午後四時マテ)海軍兵學校東海岸砲臺ニ於テ大砲射的演習有之ニ付右海岸通船差止候條船持主ヘ告示スヘシ
但當日暴風ナレハ延引ス
右相達候事
明治十七年十月三十日 警視總監大迫貞清代理 警視副總監綿貫吉直

敍任

○明治十七年十月廿九日
任農商務大書記官 農商務權大書記官正六位勳五等 宮島信吉

時事新報

商機一刻價千金

古人ノ言ニ自カラ起テ好機會ヲ作レト云フコアリ蓋シ世ボノ艱難ハ古今ノ常態ニシテ苟モ身ヲ立テ家ヲ起サントスル者ハ坐シテ幸ノ至ルヲ待ツコ勿レ日夜心ヲ用ヰテ怠ルコアラザレバ此艱難ノ中ニモ自カラ名利ハ得ベキモノナリトノ意味ナランカ左レバ今日我國ノ有様ヲ見ルニ近年ハ商況不景氣ト稱シ地方農家ノ貧困ハ目モ當テラレヌ次第ニシテ隨テ都鄙商人ノ衰弱ヲ致シ金融モ閉塞シ工業モ廢止シテ國民ノ上下雅俗ノ別ナク一様ニ難澁ナリトハ誰レ人モ喋々スル所ニシテ事實相違モナキモノヽ如シ此時ニ當リテ有志有智ノ輩殊ニ商業ニ關スル人々ハ必ズ様々ニ工風ヲ運ラシテ立身ノ道ヲ求メ斯ル艱難ノ其中ニモ名利ノ博ス可キモノハ決シテ之ヲ看過スルコナク活潑ニ運動スルコナランナレバ我輩書生ノ傍ヨリ喙ヲ容ル可キニ非ザレ圧爰ニ近日書生ノ眼ニ見テモ不審ト申スハ彼ノ佛清ノ事件ニ付キ我日本商人ノ沈着ニシテ其擧動甚ダ鄭重ナルノ一事ナリ抑モ此事件ハ我隣國ノ支那ト佛蘭西トノ間ニ何カ不和ノ次第アリテ既ニ双方ヨリ人數ヲ出シ東京(トンキン)福州台灣ノ邊ニテ折々發砲ノ事共アル由ナレ圧全クハ兩國ノ談判手荒ニシテ折節腕力ヲ用ヰテ各其國論ヲ主張スルト申ス位ノコニシテ公然タル戰爭ニハ非ズ左レバコソ兩國共ニ未ダ宣戰ノ沙汰ニ及バズ他ノ與國ニ於テモ局外中立ヲ布告シタルモノナシ即チ我日本政府ニ於テモ本月二十八日外務省ヨリノ告示アリシ其趣意ハ佛國水師提督「クルベー」氏ハ本國政府ヨリ臺灣ノ數港ヲ封鎖ス可キ命ヲ受ケタリ又同提督ハ本月二十三日ヨリ右封鎖ノ事ヲ實行シタリトノ趣ヲ日本駐箚ノ佛國公使ヨリ我政府ヘ通知アリタルニ付心得ノタメニ日本人民ヘ知ラセ置クトノ意味ニシテ是レハ兎ニ角ニ我與國ニテ港口ヲ封鎖スルナドノ事件ヲ其政府ヨリ我政府ヘ通知シタルコナレバ外務省ニテモ之ヲ等閑ニ附セズシテ日本人民ヘ告ケタルハ如何ニモ至當ノ處置ニシテ實ニ日本人ノ心得居リテ然ル可キ事ナレ圧此告示ハ唯臺灣島一二港ノ封鎖ヲ告クルニ止マルモノニシテ佛清事件ノ大体ニ關シ我日本ハ局外中立ナド云フ布告ニハ非ズ故ニ我々人民ハ佛清ノ葛藤ヲ風ノ便リニ傳聞コソスレ公然タル日本國民ノ資格ニ於テハ兩國ノ交戰ヲ知ラズ、佛ト清トノ關係ヲ視ルコ佛ト英ト清ト米トノ交際ヲ視ルニ異ラズシテ交際安泰太平無事ノ目出度モノト認ルヨリ外アル可ラザルナリ然ルニ而シテ太平無事ノ世ニ勉強ス可キハ商賈ニシテ内外ノ事情ヲ通覧シテ苟モ物ヲ賣ヒ物ヲ買フ可キ場所ト機會トアレバ先ヲ爭フテ之ニ趨クコソ商人ノ當ニ務ム可キ本職ナレバ今日我内國ニ不景氣ノ時ニ際シテ何ゾ海外ノ地ニ賣買ノ好機會ハナキヤト尋ヌルモ亦商人ノ至當ナラン然ルニ我輩コレヲ風ノ便リニ聞ク云ク近來佛蘭西ト支那トノ間ニ新事件ヲ生シテ佛ヨリ頻リニ軍艦ヲ差向ケ支那ノ沿海ニ出沒シテ其兵員少ナカラズ支那人モ亦コレヲ防禦スルトテ人數ヲ催フシ海岸ノ要害ヲ警メ各處ニ砲臺ヲ築キ兵器糧食ノ用意正ニ其最中ナリトゾ此風聞ニシテ果シテ事實ナラバ日本ノ商人ハ片時モ默止スル場合ニハ非ザル可シ佛人ニモアレ支那人ニモアレ之ニ向テ目下要用ノ品ヲ賣込ムハ我商人ノ爲ニハ最上ノ好機會ナランカ宜敷ク公ケニ聞クマデハ雙方ニ武器彈藥等ヲ渡スモ仔細ナキコニシテ既ニ英米人ノ如キハ何モ憚ル所ナク支那ノ開港場ニ武器ヲ持來リテ支那人ニ賣渡シ又英領ノ香港ニテハ佛艦ノ修繕サヘ引受ケタリトノコナレバ日本人ガ何品ヲ賣レバトテ何ノ掛念スル所アル可キヤ極々臆病ニシテ武器丈ケハ遠慮スルモ佛蘭西ノ方ハ既ニ臨時ニ何十艘ノ兵船ヲ東洋ニ出シ又近日ノ報告ニ據レバ佛政府ハ東京及ビ臺灣ニ向テ強大ナル援軍ヲ送遣スル(十月廿九日時事新報)トノコナレバ其幾千人ノ兵士ニ供スル一切ノ需用品ヲバ支那ノ開港場ニテ買入ルヽコハ叶ハズ去リトテ逐一本國ヨリ貯ヘ來ルモ大造ニシテ又或ハ貯フ可ラザル品物モ多カランナレバ手近ク日本ヨリ相當ノ品ヲ仕入レテ其急須ニ應スルハ買フ者ノタメニモ賣ル者ノタメニモ雙方ノ利益ナル可シ又支那ノ方ニテモ人心何トナク騷々シケレバ自カラ物價ニ差響キ假ニ騰貴シタルモノモアラン又下落シタルモノモアランガ故ニ貴キモノハ之ヲ賣リ安キモノハ之ヲ買フ可シ凡ソ商人ノ身トシテ商賣一方ニ眼ヲ注クトキハ世ノ治安ハ左マデ關心スルニ足ラズ却テ世ニ變アルコソ得意ノ時節ト云フ可キ程ノ事ニシテ況シテ隣國彼岸ノ事變、心配ハナクシテ利益ハ望ム可シ數年ノ不景氣中ニ外ノ僥倖ナラズヤ然ルニ我輩ガ本年夏佛清ノ事件ヲ聞シヨリ今日ニ至ルマデ東京横濱其他各地各港ニテ日本ノ一商人ガ特ニ支那地方ニ出掛ケ特ニ今回ノ機會ヲ利シテ商賣ヲ試ミタルモノアルヲ聞カズ蓋シ商人社會ノ用心深クシテ着實鄭重ナルモノナラント雖圧着實鄭重ハ遲鈍愚昧ト相隣スル字義ニシテ我輩ハ之ニ感服スルコ能ハザルモノナリ試ニ我日本ト西洋諸國ト地ヲ易ヘテ東京横濱ヲ英國ノ龍動米國ノ紐育ナラシメナバ如何ン西方一帯水ヲ隔テ、商賣居ル可キノ好機會アリ東海ノ龍紐商人ハ必ス着實鄭重ナラザルヲ信ス如何トナレバ此商人等ハ東海ニアラズシテ遠ク西洋萬里ノ地ニ在ルモ尚且今日商機ヲ空ウセズシテ事ヲ爲シツ、アル者ナレバナリ氣轉活潑ナリト云フ可シ今ヲ去ルコト二十餘年我國ニ攘夷ノ事アリテ長州侯ガ下ノ關ニ異國船ヲ打拂

ハントスル其時ニ當リテ日本在留ノ外國商人某ガ此事[illegible]トアレバ必ズ船艦鉄砲ノ入用アル可シ時運コソ目出度ケレ大ニ之ヲ長州ニ賣渡シテ益攘夷ヲ盛ナラシメ益軍用品ノ缺乏ヲ覺ヘシメテ賣捌ノ奇路ヲ開カントテ[illegible]手寄ヲ求メテ周旋奔走シ古船小銃ナド賤分[illegible]價[illegible]以テ[illegible]ケタルコアリト云フ今ニシテ考レバ[illegible]否ハ[illegible]ニ乘シテ奇策ヲ運ラスノ膽[illegible]人意表ニ出ルモノト云ハザルヲ[illegible]見レバ日本ハ恰モ其敵國ノ[illegible]レ[illegible]ハ敵ト味方トノ論ナシ唯品物ヲ[illegible]商家ノ本願成就シタルコナラン[illegible]ノミ

右等ノ談ハ危險中ノ奇策ニシテ沈着鄭重ナル日本商人ニ向テハ敢テ望ム可ラザル事トスルモ今回ノ事件ハ其商人ガ平生ヨリ從事スル尋常一樣ノ商業ニ影響スルコ少々ナラザル可シ佛清ノ戰合ヒ一段一急例、バ呉淞港口ノ[illegible]ノ緩厳、佛艦北上ノ遲速等其他都[illegible]ハ[illegible]トシテ我商況ニ利害セザルモノ[illegible]茶ノ輸出、砂糖ノ輸入、北海道物産ノ相場等何[illegible]見込ヲ立ルヤ失敗ナカラ今日ノ處ニテ[illegible]然タルコナラ[illegible]レバ單ニ是等ノ事情視察ノタメノミニテモ我商人ハ必ズ外出ヲ要スルノ時節ナラズヤ商機一刻價千金、時ヲ空ウシテ悔ルコ勿レ

佛清事件

○東京援軍の調發　佛國政府が東京及び臺灣に向け強大なる援軍を送遣するに決したる由は十月廿七日龍動[illegible]電報に據りて一昨二十九日の本紙上に掲載せしが[illegible]新聞に[illegible]したる電報は左の如し

[illegible]十月廿七日[illegible]發

[illegible]東京ニ向ケテ調發スルノ命[illegible]兵ハ十一月中ニ同所ニ向ケ出發[illegible]ナラン

[illegible]電報の[illegible]に據て察するに佛國政府は追々寒冷の候に向ひ本年中の北上は最早見込なきを以て冬間は南部温暖の場所を經略せるゝ意なるん去るにても七千の援兵を東京に派遣するの命を下し之を支那海に廻送するの沙汰なきは是れより先き佛國より東洋へ差向けたる軍艦は孰れ[illegible]たれば今度同政府の決意も唯東京の[illegible]を[illegible]り大[illegible]地方に轉軍するに在らんか餘は後[illegible]

○[illegible]の國漢字新聞に北京政府は諸大[illegible]兵[illegible]に乏しく勢久しく持續し難きを[illegible]親王の如きは中國一たび[illegible]兵禍數年に亘るとあるも斷して中[illegible]手を引く事能はず尤も佛國が前非を悔ゐて[illegible]の沙汰を廃し且安南をも中國に返却したる上よて頭を下け和を請ふに於ては特別に懇郷と加へて[illegible]なすべしとの意氣込ある由と見えたり

○[illegible]前の[illegible]は八月中[illegible]

事の際其措 … 起縱せしが … 者よて平生 … 戰の際よ … ざるやう消 … 丹鍼と疑し …
○張佩綸 … 清兩國の全 … 隊と率ゐて … 氏に送り … す一旦開戰 … 逃走したる … く上奏し … 據ざれ福 … 復自ら用ゐ … と答え上諭 …
○陳寶琛工 … られざる對 … り上海よ …
○呉全美 … 先頃病氣 … 方の防禦 … する人な … したる由 …
○ブリエ … 官代理 … 六月四日 … ント、ア、 … 佛國セン … 四聯隊附 … 八百六十 … 佛軍ヴェ … 八百七十 … 百八十一 … ブール(… 八百七十 … 長を命せ … の褒賞を … 人として … ランドオ … せられた … り曾て時 … 氏の才幹 …
○負傷者 … 提督孔老 … の議決に … たるもの … 海軍歩 … スト、 … 戰闘一 … 海軍歩 … ドゥア … 聞一 …